

〈調査報告〉

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

川 浦 康 至

はじめに

2008年6月8日(日曜日)12時38分ごろ、「秋葉原」で無差別殺傷事件が発生、7人が死亡する惨劇となった。この事件による社会的インパクトは大きく、犯行の背景をめぐり、格差社会論はじめ、さまざま議論が沸き起こった(大澤, 2008; 洋泉社ムック編集部, 2008)。この無差別殺傷事件ニュースを人びと(学生)はどのように知り、どのように受け止めたのだろうか。

筆者も参加する「うわさとニュースの研究會」では、1993年の「貴花田・宮沢りえ婚約ニュース」以来、首都圏の大学生を対象にニュースの伝播過程を継続的に調査してきた(<http://homepage2.nifty.com/rumor/>)。14回目にあたる今回の調査は、インターネットや携帯電話の普及以後、初の調査である。それらのメディアの登場で、ニュース伝播過程にどんな変化がみられるのか、明らかにしたい。

方法

実施期間 2008年6月22日~30日

回答者 大学生 849(東京経済大学 415, 立教大学 213, 立正大学 135, 聖心女子大学 53, 明治大学 25, 大阪大学 8)人。女性 468人, 男性

380人。平均年齢は19.7(標準偏差1.22)歳, 居住形態別では, 自宅 646人, 自宅外 200人となっている。

主な設問 ニュースの入手時刻と経路, 関連情報の収集行動, 事件とニュースに対する態度, 事件の背景, 社会観, フェースシート。

結果と考察

1. 事件をいつ知ったか

回答者は、秋葉原無差別殺傷事件のニュースにいつ接したのだろうか(調査票のQ1)。

ニュース接触時刻を1時間刻みでたずねた結果、1時間以内(以下、階級内の中心値)に知った人が13.2%で、その数が半数を超したのは(53.5%)、事件発生後4時間(午後4時台)だった(図1)。この速度は1995年の「阪神淡路大震災」、1997年の「ペルー人質解放」に並ぶ(表1)。他方、「皇太子妃決定」や「宮沢りえ・貴花田婚約解消」「村山政権成立」のニュースに比べると遅い。

今回の調査は事件の2週間後から3週間後の実施であったにもかかわらず、「不明・無回答」は8人にとどまった。

今回の調査結果とこれまでに行った13回分の結果を含めたニュース到達率の推移(表1)に階層クラスター分析を適用したところ、14

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

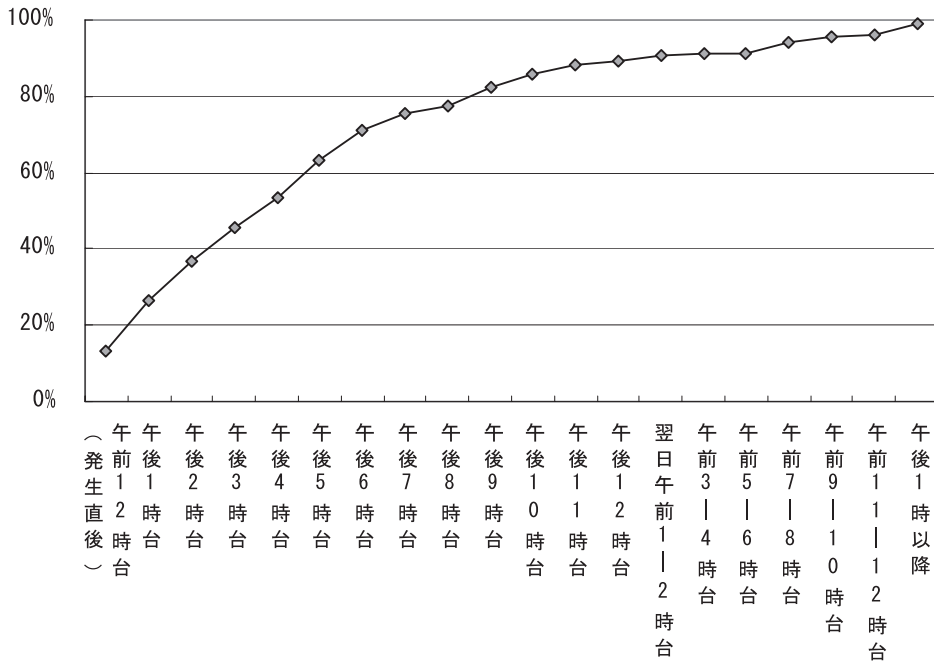


図1 秋葉原事件ニュースの到達率の推移

表1 ニュースの伝播速度 (一部, 川上 (2001) を改変)

CL	ニュース	発生日時	ニュース到達率 (時間後)					接触メディア		
			2	4	6	8	10	マス	対人	ネット
1	全日空乗っ取り	1995年6月21日 水 11:57	33.6	60.0	72.8	84.6	89.8	67.2	32.8	-
	秋葉原無差別殺傷	2008年6月8日 日 12:38	36.5	53.5	71.3	77.3	85.7	54.9	22.5	19.3
	阪神淡路大震災	1995年1月17日 火 5:47	12.1	52.1	75.4	84.2	91.3	70.8	29.2	-
	ベルー人質解放	1997年4月2日 水 5:23	18.0	51.7	65.1	71.7	75.4	83.0	17.0	-
2	貴・りえ婚約	1992年10月26日 月 22:30	34.4	44.9	45.8	48.0	58.6	76.3	23.7	-
	松田聖子再婚	1998年5月25日 月 早朝	29.4	46.3	50.9	61.5	67.0	77.6	22.4	-
3	林真須美逮捕	1998年10月4日 日 6:07	13.4	30.6	42.1	50.6	58.3	87.3	12.7	-
	ロシア軍突入	1993年10月4日 月 13:00	3.5	8.3	21.0	26.1	39.5	96.1	3.1	-
	都市博中止	1995年5月31日 水 10:45	6.4	7.0	11.4	35.6	49.6	86.6	13.4	-
4	横浜駅異臭騒ぎ	1995年4月19日 水 12:55	42.7	89.3	95.0	97.3	97.7	46.6	53.4	-
	麻原逮捕劇	1995年5月16日 火 9:45	41.7	74.5	87.2	92.7	97.4	64.4	35.6	-
	皇太子妃決定	1993年1月6日 水 8:45	62.8	83.1	85.9	86.6	86.8	83.7	16.1	-
	りえ・貴婚約解消	1993年1月27日 水 18:00	58.7	70.2	90.2	90.8	90.8	84.7	14.1	-
	村山政権成立	1994年6月29日 水 21:58	53.1	76.9	78.7	79.8	81.4	91.2	8.8	-

(注) CLはクラスター分析の結果によるクラスターを示す。

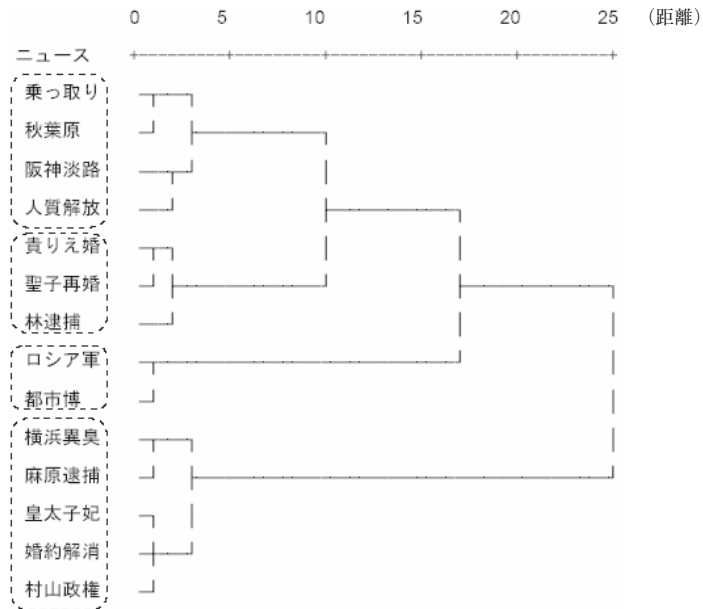


図2 ニュース到達率に関するクラスター分析 (ワード法)

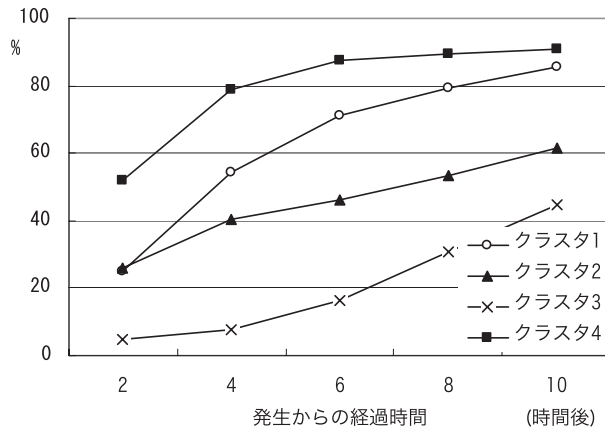


図3 ニュース到達率の推移 (クラスター別)

(注) クラスター1には「阪神淡路大震災」「全日空乗っ取り」「ペルー人質解放」「秋葉原無差別殺傷」の4ニュースが、クラスター2には「貴・りえ婚約」「松田聖子再婚」「林真須美逮捕」の3ニュースが、クラスター3には「ロシア軍突入」「都市博中止」の両ニュースが、クラスター4には「皇太子妃決定」「りえ・貴婚約解消」「村山政権成立」「横浜駅異臭騒ぎ」「麻原逮捕劇」の5ニュースがそれぞれ含まれる。

件のニュースは4つのクラスターに分かれた(図2)。

クラスター1は、全日空乗っ取り事件や今回の秋葉原事件など4件のニュースから構成される。クラスター2には、貴花田(のちの貴乃花)と宮沢りえの婚約など、3件のニュースが含まれる。クラスター3はロシア軍突入事件と都市博中止の2つのニュース、クラスター4は横浜駅異臭騒ぎなど5つのニュースから、それぞれ構成されている。各クラスターの特徴を見てみよう(図3)。

クラスター1は、初期(出来事発生2時間後)の到達率が中水準(25%前後)にとどまっているにもかかわらず、10時間後には90%前後と高水準に達していて、4クラスター中、最も伝播速度の傾きが大きい。クラスター2は初期の到達率がクラスター1と同等でありながら、10時間後は60%と中水準にとどまる。クラスター3は初期到達率が10%未満と低水準で、10時間後の到達率も40%と低水準のまま推移している。クラスター4は初期到達率(50%)も10時間後到達率(90%)もいずれも高水準を示している。

全体として、クラスター2、3、4の三者は最後までほぼ平行に推移していて、初期の到達率がその後の到達率にも影響している。つまり、2時間後の到達率が10時間後の到達率を規定している。また、中水準の初期到達率を示すニュース群はその後、伝播速度が上がるもの(クラスター1)と、一定速度を維持するもの(クラスター2)とに分かれる可能性がある。

2. どんな方法で知ったか

今回のニュースを最初に知ったのは「テレ

ビ」経由でという人が53.9%と最も多い(Q2, 図4)。新聞とラジオを合わせると、マスメディア系は54.9%となる(表1)。家族や友人など、対人コミュニケーションで知った人が22.5%、インターネット経由で知った人が19.3%と、両者は伯仲していた。今回の事件が含まれるクラスター1の他のニュースの結果から類推すると、マスメディア系、対人系それぞれの一部がネット系にシフトしているようすもうかがえる。

「その他」の内訳(自由記述)では、ネット掲示板(4人)、現場に居合わせた(2人)、(バイト先の)放送局(1人)となっていた(それ以外は無記入)。

ニュース到達率から回答者を25%、50%、25%の割合になるよう接触時刻から3群に分け、各群の入手経路を検討した。すなわち、事件発生後1時間以内に知った人(初期接触群221人)、同じく1時間以上7時間以内に知った人(中期接触群419人)、7時間以上経ってから知った人(後期接触群199人)のそれぞれについて入手経路(テレビ、対人コミュニケーション、インターネット)を求めた。その結果、有意な関連が見られた($\chi^2(4) = 15.901, p < .05$)。さらに残差分析を行ったところ、以下のような特徴が見られた(いずれも5%水準)。

初期接触群はテレビ(133人)が有意に多く、対人コミュニケーション(33人)が有意に少なかった(インターネット経由で知った人は38人)。中期接触群はテレビ(213人)が有意に少なく(対人経由100人、ネット経由90人)、後期接触群は対人コミュニケーション(58人)が有意に多かった(テレビ経由103人、ネット経由33人)。全体として、事件発生後まもなく、テレビで知った人が多く、時間経過とともに

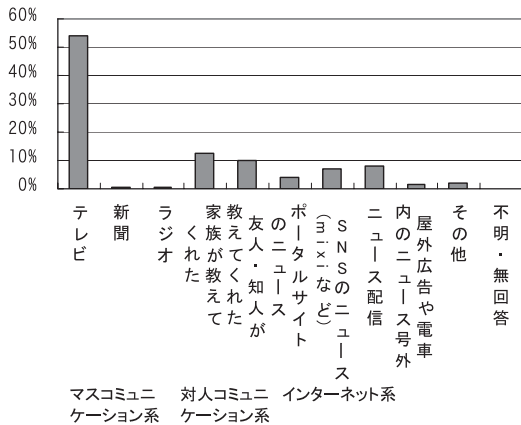


図4 秋葉原事件ニュースの最初の入手経路 (択一選択)

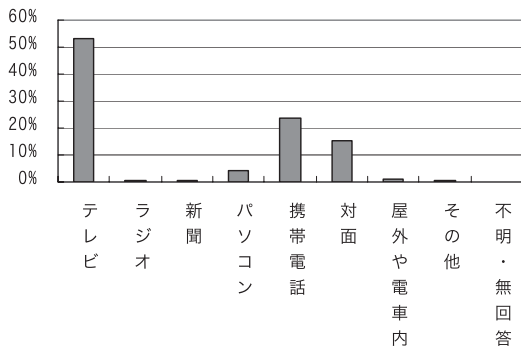


図5 秋葉原事件ニュースの最初の入手手段 (択一選択)

に対人コミュニケーションで知った人が多くなっている。

入手手段に関する回答を多い順に見ていくと、テレビ受像機 53.2%、携帯電話 23.7%、対面 15.5% と、携帯電話で第一報を知った人が対面を上回る (Q3, 図5)。これらの結果は、事件発生が日曜の昼で自宅にいた人が 65.3% もいたことが関係していよう (Q4)。

携帯電話で知った人について、その内訳を見ると、ニュース配信 (200人中 67人) が最も多く、以下、個人的な連絡 (家族が教えてくれた 30人、友人・知人が教えてくれた 27人) 57

人、SNSのニュース (52人)、ポータルサイトのニュース (19人) と続き、テレビ (ワンセグ) は 3人にとどまった。携帯電話は、このように、マスメディア的利用 (ニュース配信、各種ニュースサイト、ワンセグ) と、対人コミュニケーション利用の双方を満たす装置となっている。

3. 知ってから、どうしたか

このニュースを友人や家族に伝えた人は 61.2% にのぼり (Q5)、相手も知っていたケースは、そのうちの 68.4% を占めた (Q6, 図6)。過去の調査で、他者に「伝えた」人が半数を超えたのは、阪神淡路大震災 88%、横浜異臭騒ぎ 73%、貴・りえ婚約 64%、麻原逮捕劇 58% で、少なかったのはロシア軍突入 12%、都市博中止 17% である (川上, 1997)。他者に伝える人が多いことは結果として対人コミュニケーションで知る人を増やし、それがニュース伝播の範囲を広げている。

事件の詳細を知ろうとした人は 91.6% と 100% 近く (Q7)、その情報源として「テレビニュース」が 71.7% と、最も多く利用されていた (図7)。以下、「インターネットのニュース」28.5%、「テレビの特別番組」17.8% と続く。事件当日は日曜日で夕刊がなく、また翌日は休刊日で朝刊がないため、新聞による第一報は事件翌日 (9日) の夕刊まで待つしかなかった。ただし事件後、特集を組んだ新聞も多く見られ、14.7% の回答者が「新聞」をあげていた。

他者に伝えたかどうかとの関連では、伝えた人の方がテレビニュース、テレビの特別番組、インターネットのニュース、ブログやmixi日記、新聞、から詳細を得ている人が多かった (直接確率検定)。インターネット掲示板、動画サイ

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

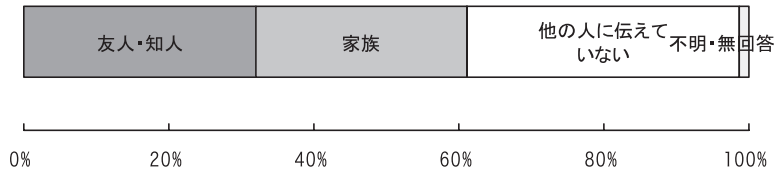


図6 秋葉原事件ニュースの他者への伝達

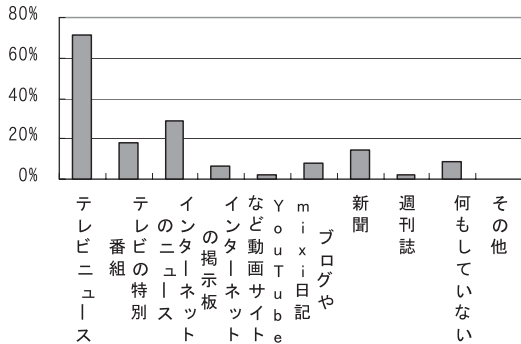


図7 秋葉原事件ニュースの詳細報源

トについては、このような傾向は見られなかった。

4. 事件に対する印象

今回の事件を知ったとき、回答者の66.0%が「とても驚いた」(Q8a), 同じく51.4%が「とても恐怖を感じた」(Q8b), 同じく7.3%が「現実感はなかった」と感じていた(Q8c)。「あまり現実感がなかった」35.7%を合わせると、現実感がなかったとする人は43.0%となり、その多さが特徴的である(図8)。三者の順位相関(スピアマン)を算出したところ、「驚き」と「恐怖」との間でのみ有意な値が得られた($\rho = .500, p < .001$)。すなわち現実感の有無は、これらと独立の反応となっている。また、他者に伝えた人ほど「驚き」と「恐怖」の程度が有意に高かった(マン・ホイットニーのU検定)。現実感の程度については有意ではなかった。

報道に対して、回答者の54.3%が「騒ぐの

は当然だと思う」と答えているものの、一方で過剰報道を指摘する人(騒ぎすぎ, やや騒ぎすぎ)も32.6%いる(Q9)。

今回の事件の背景として(複数回答), 容疑者本人を指摘する回答者が78.7%, また家庭環境をあげる者が50.4%と, 本人にかかわる指摘は多いものの, 日本社会33.6%, インターネット25.6%と外的環境を指摘する者も一定数見られる(Q10, 図9)。事件の主な背景として, 本人以外の要因(日本社会, インターネットなど)をあげる人が3割前後いるという結果は, 起こるべくして起きた事件であると感じている人が少なくないことを示している。

回答を性差から検討した。その結果, 女性の方が多かった項目として, 家庭環境(女性の53.8%, 男性の46.6%), インターネット(女性31.2%, 男性18.8%), 携帯電話(女性14.1%, 男性9.0%)が, 男性の方が多かった項目として勤務先(男性14.6%, 女性8.5%), 派遣制度(男性15.3%, 女性7.3%), 日本社会(男性38.1%, 女性30.1%)がそれぞれあげられ, 「容疑者本人」「サバイバルナイフ」については有意な性差は見られなかった。女性は身近な要因を, 男性は社会的制度的要因を指摘する傾向にある。

5. メディア行動と社会観

回答者のマスメディア接触状況では(Q11,

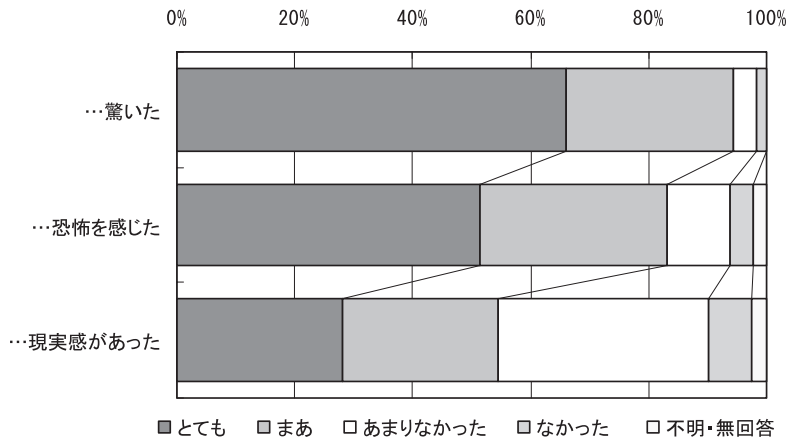


図8 秋葉原事件に対する印象

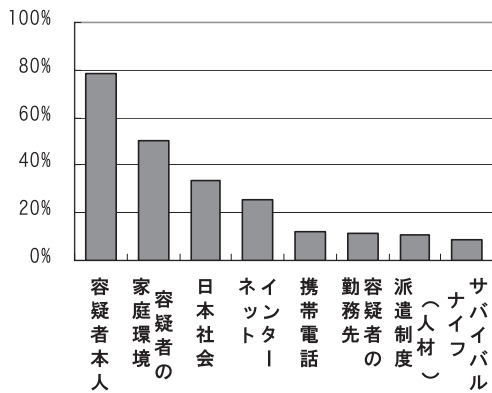


図9 秋葉原事件の背景に関する主観評価

6. 事件に対する意見や感想

最後の質問で、今回の事件について意見や感想を自由記述で求めた。225人が回答し、その主な内容を分類したところ、容疑者自身の問題に言及した人が48人で最も多く、以下、マスコミ報道に疑問を投げかけるもの45人、恐怖や驚愕に触れた人38人、社会の側にも問題があるというもの26人と続いた。性別との関連を見たところ(対応分析)、男性は「社会」「マスコミ」に言及する傾向にあるのに対し、女性は「恐怖」「驚愕」「影響」「共感」「悲惨さ」にふれる傾向が見られた。自由記述の内容を見る限り、男性の関心は相対的にマクロ志向であるのに対し、女性の場合はミクロ志向と言えよう。

まとめ

秋葉原連続殺傷事件ニュースが過半数の大学生に伝わったのは事件発生4時間後のことだった。このニュースの伝播過程で、最も多かった入手経路はテレビの54%だったが、対人経由とネット経由がそれぞれ23%、20%を占める。ニュース入手手段として携帯電話のはたした役

12)、テレビニュースを「ほとんど見ない」人は5.1%にとどまるのに対し、新聞を「ほとんど読まない」人が39.5%を占める。

社会観を尋ねた項目では、Q13「社会をよくするために自分も何かしたい」人が80.0%、Q15「社会をよくするためには一人一人が努力しなければならない」と思う人が88.8%いる半面、Q14「自分たちの力では社会の仕組みは変わらないと思う」人が55.4%と過半数を占める(図10)。8割は社会をよくするために貢献したいと思いつつも、5割強が自分たちの力ではどうにもならないと感じている。

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

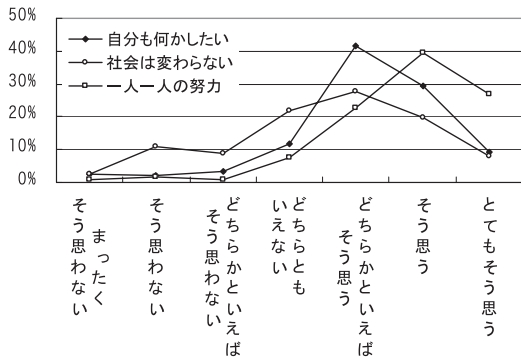


図 10 回答者の社会観（社会への態度）

割合は大きく、回答者の 24% がこれで第一報に接していた。携帯電話は、インターネット上の情報を得る手段（マスメディア）、身近な人からの連絡手段（パーソナルメディア）という 2 つの顔を持ち、それゆえニュース伝播においても重要な役割を担っている。

付録 1 調査票と単純集計

※数値は左から、人数，%，累積%（Q1 のみ）を示す。 (N=849)

Q1 6月8日（日）午後0時半ごろ、秋葉原で無差別殺傷事件が起きました。あなたが、最初にそのニュースを知ったのはいつごろですか。

時間	人数	%	累積%	階級中心値
1 午前 12 時台（発生直後）	112	13.2%	13.2%	（階級中心値）
2 午後 1 時台	111	13.1%	26.3%	1 時間後
3 午後 2 時台	87	10.2%	36.5%	2 時間後
4 午後 3 時台	76	9.0%	45.5%	3 時間後
5 午後 4 時台	68	8.0%	53.5%	4 時間後
6 午後 5 時台	84	9.9%	63.4%	5 時間後
7 午後 6 時台	67	7.9%	71.3%	6 時間後
8 午後 7 時台	37	4.4%	75.6%	7 時間後
9 午後 8 時台	14	1.6%	77.3%	8 時間後
10 午後 9 時台	42	4.9%	82.2%	9 時間後
11 午後 10 時台	30	3.5%	85.7%	10 時間後
12 午後 11 時台	23	2.7%	88.4%	11 時間後
13 午後 12 時台	6	0.7%	89.2%	12 時間後
14 翌日午前 1-2 時台	13	1.5%	90.7%	

謝辞 調査の実施に協力いただいた、大坊郁夫さん（大阪大学）、市川孝一さん（明治大学）、川名好裕さん（川村学園女子大学）、松井豊さん（筑波大学）、斉藤勇さん（立正大学）、そして職場の同僚たちに、この場を借りて、お礼を申し上げます。

文献

川上善郎（1997）. うわさが走る サイエンス社
 川上善郎（2001）. ネットワーク社会のなかのパーソナル・コミュニケーション 川上善郎（編）情報行動の社会心理学 北大路書房 pp.114-127.
 大澤真幸（編）（2008）. アキハバラ発〈00年代〉への問い 岩波書店
 洋泉社ムック編集部（2008）. アキバ通り魔事件をどう読むか!? 洋泉社

15	午前 3-4 時台	3	0.4%	91.0%
16	午前 5-6 時台	3	0.4%	91.4%
17	午前 7-8 時台	24	2.8%	94.2%
18	午前 9-10 時台	10	1.2%	95.4%
19	午前 11-12 時台	6	0.7%	96.1%
20	午後 1 時以降	25	2.9%	99.0%
	不明・無回答	8		

Q2 最初に、そのニュースを知ったのは、どのようにしてですか。

1	テレビ	458	53.9%
2	新聞	5	0.6%
3	ラジオ	3	0.4%
4	家族が教えてくれた	107	12.6%
5	友人・知人が教えてくれた	84	9.9%
6	ポータルサイトのニュース	34	4.0%
7	SNS のニュース (mixi など)	60	7.1%
8	ニュース配信 (メールやフラッシュニュース)	70	8.2%
9	屋外広告や電車内のニュース・号外	11	1.3%
10	その他 (具体的に)	15	1.8%
	不明・無回答	1	0.1%

Q3 そのときの手段は何でしたか。

1	テレビ受像器	452	53.2%
2	ラジオ受信機	5	0.6%
3	パソコン	37	4.4%
4	携帯電話	201	23.7%
5	対面	132	15.5%
6	新聞	6	0.7%
7	屋外や電車内の電光掲示板	9	1.1%
8	その他	6	0.7%
	不明・無回答	1	0.1%

Q4 このニュースを知ったとき、あなたはどこにいましたか。

1	移動中	125	14.7%
2	自宅	554	65.3%
3	友人宅	38	4.5%
4	バイト先	67	7.9%
5	大学	24	2.8%
6	その他 (具体的に)	30	3.5%
	不明・無回答	11	1.3%

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

Q5 このニュースを知って、そのことを他の人に伝えましたか。最初に伝えた人を教えてください。

1 友人・知人	272	32.0%
2 家族	248	29.2%
3 他の人に伝えていない	318	37.5%
4 その他（具体的に）	0	0.0%
不明・無回答	11	1.3%

Q6 《Q5で「伝えた」と答えた人のみ》相手はそのことをすでに知っていましたか。

1 はい	363	69.8%
2 いいえ	148	28.5%
不明・無回答	9	1.7%
（非該当）	329	

Q7 このニュースを知ってから、詳しく知るために情報を見たり、探したりしましたか。【複数回答】

1 テレビニュースを見た	609	71.7%
2 テレビの特別番組を見た	151	17.8%
3 インターネットのニュースを読んだ	242	28.5%
4 インターネットの掲示板を読んだ	55	6.5%
5 YouTube など動画サイトを見た	18	2.1%
6 ブログや mixi 日記などを読んだ	70	8.2%
7 新聞を読んだ	125	14.7%
8 週刊誌を読んだ	19	2.2%
9 何もしていない	71	8.4%
10 その他（具体的に）	1	0.1%

Q8a このニュースを知ったとき、あなたはどの程度驚きましたか。

1 とても驚いた	560	66.0%
2 まあ驚いた	240	28.3%
3 あまり驚かなかった	35	4.1%
4 驚かなかった	13	1.5%
不明・無回答	1	0.1%

Q8b このニュースを知ったとき、あなたはどの程度、恐怖を感じましたか。

1 とても恐怖を感じた	438	51.6%
2 まあ恐怖を感じた	269	31.7%
3 あまり恐怖を感じなかった	90	10.6%
4 恐怖を感じなかった	33	3.9%
不明・無回答	19	2.2%

Q8c このニュースを知ったとき、あなたはどの程度、現実だと感じましたか。

1 現実感があった	240	28.3%
2 まあ現実感があった	223	26.3%
3 あまり現実感はなかった	303	35.7%
4 現実感はなかった	62	7.3%
不明・無回答	21	2.5%

Q9 今回の事件に対して、マスメディアの報道は騒ぎすぎだと思えますか。

1 騒ぎすぎであると思う	68	8.0%
2 やや騒ぎすぎであると思う	209	24.6%
3 騒ぐのは当然だと思う	461	54.3%
4 騒ぎすぎとは思わない	107	12.6%
不明・無回答	4	0.5%

Q10 あなたは、今回の事件が起きた背景や理由として、どんなことがあると思えますか。以下のなかから、特に重要だと思うものを選んでください。【複数回答】

1 容疑者本人	668	78.7%
2 容疑者の家庭環境	428	50.4%
3 容疑者の勤務先	95	11.2%
4 (人材) 派遣制度	92	10.9%
5 日本社会	285	33.6%
6 サバイバルナイフ	72	8.5%
7 インターネット	217	25.6%
8 携帯電話	100	11.8%
9 その他 (具体的に)	23	2.7%

Q11 あなたはふだん、どの程度テレビニュースを見ていますか。

1 必ず見る	251	29.5%
2 見る	356	41.9%
3 たまに見る	197	23.2%
4 ほとんど見ない	43	5.1%
不明・無回答	2	0.3%

Q12 あなたはふだん、どの程度新聞を読んでいますか。

1 必ず読む	76	9.0%
2 読む	149	17.6%
3 たまに読む	282	33.2%
4 ほとんど読まない	335	39.5%
不明・無回答	7	0.8%

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

Q13 あなたは、社会をよくするために自分も何かしたいと思いますか。

1 とてもそう思う	80	9.4%
2 そう思う	249	29.3%
3 どちらかといえばそう思う	353	41.5%
4 どちらともいえない	100	11.8%
5 どちらかといえばそう思わない	28	3.3%
6 そう思わない	19	2.2%
7 まったくそう思わない	20	2.4%

Q14 あなたは、自分たちの力では社会の仕組みは変わらないと思いますか。

1 とてもそう思う	67	7.9%
2 そう思う	169	19.9%
3 どちらかといえばそう思う	235	27.6%
4 どちらともいえない	184	21.7%
5 どちらかといえばそう思わない	76	9.0%
6 そう思わない	94	11.1%
7 まったくそう思わない	22	2.6%
不明・無回答	2	0.2%

Q15 あなたは、社会をよくするためには一人一人が努力しなければならないと思いますか。

1 とてもそう思う	228	26.9%
2 そう思う	334	39.3%
3 どちらかといえばそう思う	192	22.6%
4 どちらともいえない	64	7.6%
5 どちらかといえばそう思わない	7	0.8%
6 そう思わない	14	1.6%
7 まったくそう思わない	7	0.8%
不明・無回答	3	0.4%

F1 あなたの性別

1 男性	380	44.8%
2 女性	468	55.1%
不明・無回答	1	0.1%

F2 あなたの年齢

1 18歳	132	15.5%
2 19歳	292	34.4%
3 20歳	251	29.6%
4 21歳	120	14.1%
5 22歳	37	4.4%

6 23 歳	8	0.9%
7 24 歳	3	0.4%
8 25 歳	6	0.7%

F3 あなたの住まい

1 自宅	646	76.1%
2 自宅外	200	23.5%
不明・無回答	3	0.4%

今回の事件について、あなたの意見を書いてください。

(225 人記入, 男性 101 人, 女性 121 人。回答内容は付録 2 を参照)

付録 2 事件に関する意見や感想
(一部修正)

(1) 主に容疑者本人にふれたもの

《男性の回答》

あまりにも身勝手に残酷な犯行で強い憤りを感じた。

ありえない。人生がいやなら、自殺してもらった方がいい。

ある意味で勇気のある行動だが、それを別の方向に向ければよかった。

いかなる理由があろうと、無差別に他人の人生を踏みこむような真似をする人間に情状酌量はありえない。

たまたま頭のおかしな奴が大きな事件を起こしただけ。

なぜ他人の命を自分勝手な理由で奪うのか。

マスコミや世間、社会制度を批判する人もいるが、加害者と親に責任がある。

もし遺族だったら極刑を望む。

一番の原因は両親である。

関係のない人を巻き込まないでほしい。亡くなった人がかわいそう。

気持ちはわからなくもないが、人間として保つべき一線を越えてしまった。同情の余地はない。

原因は犯人の甘えにすぎない。自分だけがつらいと思いきみ、何をやっても許されると思ってあばれる。まるで 5 歳児だ。ゲームやマンガのせいにするマスコミに怒りを覚える。

殺すことはやってはならないことであるし、無差別ということで関係のない人たちが巻き込まれてしまったし、本当に悪質な事件だ。

子どもの頃から家庭内でいろいろあったらしいが、ストレスの処理が下手だ。無関係な人の命を奪ってはいけない。

自分の弱さを世間のせいにされたら困る。自分だけが不幸だと思ってほしくない。

社会の問題もあるが、本人の問題だ。

人を殺したいほど彼女が欲しいという感情が理解できない。

人殺しがしたいなんてバカ。

早く死刑になればいい。

他人に自分の痛みをわかってもらおうとすることに意味はない。

同じような環境で生活している人は大勢いる。今回の犯行はあくまで犯人個人の問題で、同情すべきではない。

派遣会社や制度にも問題はあがるが、一番の問題は容疑者自身にある。自己の弱さゆえの事件である。

犯人の人間性を疑う。早く死刑にしてほしい。

犯人は人間のくずだ。

彼に理性はないのか。

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

悲惨な出来事だ。被害者や遺族はなぜそんな目に合わなければならないのか。かわいそうで仕方がない。社会が嫌になったなら、死にたいと思ったのなら、一人で死ねと犯人に言いたい。

無差別殺人が増えている気がする。犯人に同情の余地はない。

容疑者に発言する権利はない。死刑。

容疑者の母親に問題がある。

《女性の回答》

コンプレックスや不満があっても、周りの無関係な人を巻き込むべきではない。

テレビニュースを見ているときに事件が起きたので、びっくりした。犯人を許せない。関係のない人を巻き込むのは最低だ。

なぜ人を殺そうと思ったのか理由がわからない。

何とも言えない。犯人が許せない。

携帯での頻繁に更新された掲示板が大きく取り上げられているが、携帯電話やパソコン依存というよりは、本人の弱さだ。

今回の事件は重大であるが故に、まるで社会全体が悪いというように騒がれている。しかし、個人の心理面の未熟さが引き起こした事件である。

事件の背景は周囲の環境や日本社会ではない。

自分が社会を憎んでいるからといって、人を殺すのは最低だ。今の状況をすべて周りの人のせいにして、自分は悪くないのか。しかし、そこまで追い詰められた犯人は、かわいそうだ。

誰でもいいから殺すのは絶対にやめてほしい。

誰でも孤独だったり、思い通りに行かない。それを殺人で晴らそうとするのは愚かだ。

犯人に同情する意見もあるが、犯人の起こしたことは決して許せない。

犯人の家庭環境が影響していると言うが、そのような環境でも犯罪を起こさない人は大勢いるし、犯罪を起こしてもよいという理由にはならない。

犯人の精神年齢が幼い。25歳で自分の行為を親のせいにするとは理解できない。家庭にまっ

たく問題がないわけではないが、責任転嫁も甚だしい。

本人の意思だけで起きた事件だ。

本人の責任だ。成人した大人として、あんな無責任な行動は許されない。

命を返せ!!

容疑者に言いたいことは、自分の人生に関係のない他人を巻き込むな、ということだ。あとから反省しても、それは何の効果ももたらさない。死にたいなら自分だけで死ねばいい。

容疑者の身勝手さ、責任転嫁に腹が立った。報道による犯罪者予備軍、模倣犯の誘発は避けられない。

容疑者は何を考えているのか、まったく理解できない。本当にひどい。

(2) 主にマスコミ報道にふれたもの

《男性の回答》

ニュースでのトークで「この時にこうすれば、被害は少なかったのではないか？」という芸能人のコメントには怒りを感じる。彼らは、起きてしまったことに対してしかコメントしない。

ニュースはもっと無機質であるべきだ。

ネタにしやすいくからと騒ぎすぎ。

マスコミはオタクから犯罪者が生まれるような物言いをする。容疑者個人の問題であって、大雑把なカテゴライズで世論を動かすのはよくない。

マスコミはセンセーショナルに報道し、被害者を曝し、たいてい、お涙頂戴で終わる。「識者」がテレビで私見を垂れ流す。日本人は何か起きてからでないと問題に気付かないふりをする。

マスコミは時々、妙なところを掘り下げる。

マスコミは騒ぎすぎ。同じ事件を起こす可能性を高めている。

マスメディアは阿呆ばかり。

マスメディアは騒ぎすぎ。消費者は不買行動など、の行動手段を考える時期に来ている。

メディアが騒ぎすぎると、似た事件を誘発す

るのでほどほどにすべきだ。

メディアの情報は偏りすぎる。真実ではなく、いかに興味を持たせるか、それしか考えていない。

メディアの対応に軽率な部分があった。

メディアの本末転倒ぶりがイタイ。サブカルチャーの負の影響しか語られないのが残念である。

メディアはオタクと結びつけたいのか。

僅かな情報しかないのに、報道しようとするマスコミに疑問を感じる。もう少し確固たる情報が出てからでも遅くはない。

最初は取り上げても、1週間後にはほとんど取り上げないマスコミ。

事件を知ったとき、「またか…」と最初に思った。近年、似たような事件が多発し、そのたびにメディアはこぞって取り上げたにも関わらず、何の抑止力にもならなかった。

秋葉原は廃れてきた感じがする。マスコミの視点はずれている。

真似する人が出てこようと、マスコミは詳細を報道すべきである。

凄惨な事件ではあるが、メディアが犯人を報道しすぎるのは危険である。死刑制度が問題になっている今、メディアはストレートなニュースのみを報道し、われわれ市民に公平な情報を供給すべきである。

昔も狂気は存在したが、今はそれがメディアのなかで起きている。

非常に痛ましい事件だ。ただ、テレビ報道のバイアスも気になった。

報道の論点がずれている。

模倣犯が心配だ。このような事態を防ぐような報道が望まれる。

《女性の回答》

オタクを一括するのはどうか。

オタクを危険視するのはどうか。

オタクを強調するのはおかしい。死にたければ一人で死ね。

このような事件は以前から起きているのに

かかわらず増えているように報じる報道に疑問を感じる。犯人の今後、事件を起こしたら、どうなるか報道して模倣犯が増えないようにすべきである。

これをきっかけに、警察の権力が強まったり、監視社会が加速するのではないかと危惧している。他人事のように話すキャスターやコメンテーターには憤りを感じる。貧乏人同士で殺し合あっていたらいいのか。

テレビで容疑者の親の顔を出すのはどうか。さらし者にするだけ。テレビの視聴率主義にはあきれられる。

なぜこんなにアキバ系が取り上げられるのか。マスコミの報道の仕方にもたくさん問題がある。結局、犯人が異常な人物だったのだ、という結論に結びつけるマスコミの報道の仕方には、いつも不満を感じる。

マスメディア報道で、容姿端麗で将来があった被害者のみ大きく取り上げるのはどうなのか。

メディアが必要以上に騒ぎ立てることで、容疑者の支持者や、秋葉原事件同様の事件が後を絶たない。

メディアは事件について詳しく書かない方がよい。真似する人が出てくるから。

加害者の情報(彼の家庭環境や女性に対する考え方)を必要以上に報道しすぎだ。

過剰報道だ。話題を取るための報道でしかない。

行きすぎた報道で被害者やその家族を悲しませたり、似たような事件が起こらないようにしたい。

今回の事件で一番気になったのはマスコミの報道の仕方だ。犯人が犯行に至った経緯は、特殊な環境のせい！と思わせる表現が多かった。

事件に触発されて新たな事件が起きた。過度の報道はどうかと思う。

事件の背景を勝手に報道するのは必要ない。

似た事件が頻発している。メディアの影響力を感じる。どこまで報じればいいのか、線引きがむずかしい。

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

親がテレビで謝る必要はない。容疑者は大人なのだから。マスコミも騒ぎすぎ。

報道する側が視聴者の興味をひくような犯人の生い立ちばかり取り上げている。もっと事件を防ぐような報道はないのだろうか。

容疑者の人物像や家庭環境などを（マスメディアが）公にする理由がわからない。行動を起こす人だけを異常視する風潮が嫌いだ。

(3) 主に社会要因にふれたもの

《男性の回答》

こういう社会になってしまったのか。

こんな事件が起きないように、いい日本にみんなでしょう。

どこでもテロが起これるにも関わらず、日本人のテロに対する意識が低い。

なくならない。

格差社会による負け犬意識が加藤を犯罪に導いた一因であるのは否定できない以上、社会を変えないと同じような事件はまだ起きる。

起こるべくして起きたことだ。

個人の内面的な問題と社会構造の変化が生んだテロの二面性を持っている。

今後が不安。

最近の人たちは人が死ぬことを軽く見がちなのではないか。

事件が起きた場所は自分も行ったことがあるので、とても怖かった。日本社会で生きる人の心が病んでいる。

傷ましい事件ではあるが、改めて日本社会を考えるきっかけにすべきだ。

正社員化を進めた方がいい。

動機がはっきりしない。しっかり捜査して、社会的欠陥が要因であるなら、そこを改善する必要がある。

同じような事件は起きる。

派遣制度や企業の実力主義が間違っているのでは？ という意見を投げかけた。凶悪な事件だが、社会全体が目指している方向はおかしいと思い始めるきっかけになった。

犯人が裏サイトで知り合うなど複数だったら、こんな程度ではすまなかった。アメリカのように大学内で殺傷事件が起こることもあるのかなと不安になった。

理不尽な事件が多くなってきている。秋葉原の事件も「またか」と思った。そういう世の中にぞっとする。

《女性の回答》

こういう事件はこれからもっと増える。

こうした事件や災害、事故を見聞する度に、個人ではどうにもできない事態があるということへの憤りや無力感を感じる。

この問題は容疑者個人の問題ではなく、社会全体が関係する問題だ。

また起こる。

近頃の世の中では、まるで小説のような惨い事件が多発し、いまやこのような事件にもあまり驚かなくなってきた。しかし場所が秋葉原ということで、恐怖を感じた。わたしたちの社会は、どうしてこうも汚れていくのか。

社会を変えたいけど、いろいろな圧力で変わらない。

周りや社会がどうしなければならないかを考えるべきだ。犯人を責めても何も変わらない。

他人とのつながりが、もう少し作りやすい世の中にしないと、このような事件は防げない。

容疑者に同情はしないし、間違っているが、あのような事件に走った気持ちが理解できないわけではない。今の日本社会の問題とか。

(4) 主に恐怖にふれたもの

《男性の回答》

すれ違う人が、もしかしたらナイフを持っている無差別殺人鬼なのではないかと、疑心暗鬼になっている。杞憂かもしれないが、私の通う大学の近くでも似たような事件は起きているし、かなり恐怖感がある。

なぜ、あんな事件が起きるのかわからない。

事件があった日、秋葉原で乗り換えたので、時間がずれていたら自分も、と思うと、少し怖

かった。

自分も殺されたらと思うと怖い。

友人が秋葉原にいると聞いて、とても怖かった。

《女性の回答》

すごく怖くて、他人事ではない。

たまたま秋葉原で起きただけで、池袋で起こる可能性もあり、とても怖い。

どこで何が起きるかわからず、怖い。

どこにいても危険だ。家でさえ安全ではない。

家族から聞いたとき現実感がなかったが、報道を見て同年代の女の子が被害にあったことを知り、本当に怖くなった。

気軽に外に出かけられなくなった。

近所で起きた事件なので、とても恐怖を感じた。

残虐さを知り、とても恐怖を感じた。

自分も巻き込まれるのではないかという不安や恐怖を感じる。

秋葉原にはもう行きたくない。

池袋でも以前このような殺傷事件があったと知り、他人事ではなく、非常に恐怖を感じた。

当日、秋葉原に行く予定だったが、用事があって結局行かなかった。もし行っていたら、私も殺されていたのかもしれない。

同い年の人が被害に遭っているので他人事とは思えない。ぞっとする。

非常に怖い。

怖い。(2人)

歩行者天国の秋葉原は怖い。

無差別は本当に怖い。いつ何時、自分も巻き込まれるかわからない。本当に怖い。

(5) 主に驚愕にふれたもの

《男性の回答》

近所で起きたので非常に驚いた。

事件当日に友人が秋葉原に出かけていて、彼から電話が掛かってきた時、一番驚いた。

秋葉原の歩行者天国を一目見たいと思ってい

たら、事件が起き、とても驚いた。

《女性の回答》

25歳という年齢にもかかわらず、将来を諦めていたことに驚いた。派遣でも日雇いでも雇ってもらえる可能性は大いにある年齢のはず。

バイト先の友人の友人が被害者になった。

以前行ったことのある場所で起きたので、かなり驚いた。

奇異な事件だが、あまり現実感がない。ドラマの中のできごとのようで戸惑った。

事件自体は恐ろしく、とても信じられないような犯行だ。しかし、実際は自分にも起こりうる可能性があるのに、実感がわからない。

実感はあまりなかったが、現実だし、遠くにいる家族も心配して電話して来たことにも驚いた。

場所や時間を選んで行われた犯行であり、他人事ではない。

信じられない。

信じられない。あつてはならない。

身近な人が被害に遭い、とてもショックで現実感が湧かない。

身近な人が亡くなってショックだった。このような事件が起きないように、気をつけなければいけない。

知人が偶然、現場にいた。その人は無事だったが記憶から消えないと言う。知人の話を聞き、リアルに感じ、他人事とは思えない。

(6) 主に事件の影響にふれたもの

《男性の回答》

今回の事件をきっかけにネット犯罪が増えた気がする。

池袋で模倣事件が起きないことを祈る。

模倣犯が増えるのではないだろうか。

《女性の回答》

このような事件が増えるのではと懸念している。ゲームの主人公のような人の殺し方など擬似世界に住んでいるような感覚をもつ人が増え

てきている。

ネットに似たような書き込みや、大阪の事件があつたり、続くのは恐ろしい。

許せない事件！ 歩くのが怖くなるし、日本中に恐怖を与えた。容疑者の頭がわからない。

軽い気持ちで真似する人が多い。みんな、そんなに自己アピールしたいのか、自己の存在を知らせたいのか。

行ったことのある場所でこのような事件が起きたので衝撃的。他人事ではなく、同じような事件が起きないか不安。

今回の事件に触発されて、新たな惨劇が起きそうな気がして、とても怖い。

事件の真似をする人が増え、一般市民はさらなる恐怖に怯えなければならぬ状況になってしまっている。

事件を真似する人の気持ちがわからない。家族や周りの環境で人は作られると思った。

自分の身近で起きたので、現実味があつて怖かった。今回の事件に影響されて同じような犯罪を起こす人が増えないと、いい。

大阪でも昨日、同じような傷害事件が起きたので、誘発されたのではないか。今後もこのような事件が起きるのではないか。

大阪でも通り魔事件があつたので、驚いた。

二度と起きてほしくない。

便乗して書き込みをする人が増えている。それだけ格差による影響は大きい。

命が軽く扱われている。模倣する愉快犯が出ないことを祈っている。

模倣犯が出ないか心配だ。

模倣犯が出るのがとても怖い。池袋で、警察数人で道を監視していると、犯行予告があつたのでは？ と思ってしまうようになった。

(7) 主に事件を冷静に考えるべきだとするもの

《男性の回答》

とても身近に感じた。誰でもやりかねない。

善人と悪人との差はないのに、レッテルを貼って他人事のように思っている。

誰がいつ被害にあつてもおかしくはない。

友達がなく家族のつながりもなく、話す場はネットの掲示板のみであれば、人間として狂って当たり前。英語や数学ではなく、人とのつながり方を教えるべきだ。歩行者天国封鎖は何の解決にもならない。

容疑者の環境が奇妙でも、それと犯罪は関連しない。要は「やる人はやる」だ。

《女性の回答》

「最近は」と、昔より今の方が悪く言われるが、このような事件は昔からあつた。

インターネットをインターネットと割り切ることの重要性を知つた。

今の世の中、殺人者になるのも被害者になるのも紙一重の世界になっている。

私たちは毎日の衣食住がきちんと保障され、平凡に過ごしていると思つているので、気づかないが、あの犯人の予備軍のような人は思つている以上に多い。模倣による書き込みは本当に許しがたい。

人を殺しても人は人。普通じゃない人はこの世の中に存在しない。

容疑者や被害者は特別な人ではない。今の日本では、どこでもいつでも誰にでも起こりうる。

(8) 主に悲惨さにふれたもの

《男性の回答》

ひどい事件だ。

言葉にできない悲しい事件だ。

知り合いが殺されたので許せない。

二度と起きてほしくない。

《女性の回答》

あまりにも残虐で現実とは思えなかつた。恐怖心も湧かなかつた。

テレビニュースの映像があまりに悲惨で直視できなかつた。友人の親から友人に「秋葉原はいま事件が起きて危ないので近づかないように」というメールがあり、それで知つた。

起きてはいけないことが普通に起きてしまう今の世の中は大変。平和な日本であり続けて欲

しいのに悲しい。

起きてはいけない事件だ。

現場にいた大学生の話聞いて、つらくなった。

知人に被害者がいた。私のアルバイト先が秋葉原で本当に怖く、悔しく、いたたまれない。無差別であることに憤りを感じた。

(9) 主に周囲の反応にふれたもの

《男性の回答》

この事件に触発されたのか、掲示板で犯行予告をする不謹慎なバカがいることに悲しくなった。

現場で何もせず、写真や動画を撮り続けている人々に腹が立った。

現場で写メを撮っていた人に腹が立った。

父親の記者会見の態度がひどすぎる。周りで写メを撮っているバカどもの頭の悪さ。

《女性の回答》

ネットの掲示板が悪いとは思わないが、それを利用して殺人予告や実況中継することに異様な恐ろしさを感じた。

事件現場で写メを撮り、赤外線を送っている人に憤りを感じた。犯人の身勝手さだけでなく、周りの人々の行動すべてが悲惨な事件であり悲しい。

他人が被害にあっているのを見て即座に救助したり連絡したり元気付けたりできる人はすごい。そういう人がいる社会でよかった。

誰か彼を救ってあげる人がいてもよかったのではないか。

被害者の一人が近所に住んでいたり、秋葉原が父の職場だったり身近なことが多く、かなり衝撃だった。悲惨な現場を野次馬が淡々と携帯カメラなどで撮っていたことに憤りを感じた。

(10) 主に規制にふれたもの

《男性の回答》

アニメをこれ以上、規制しないでほしい。

インターネットの影響に恐怖を感じる。インターネット上の言論に規制がかかるのではないかな。

歩行者天国はやめないでほしい。

《女性の回答》

インターネットのあり方を考えるべきだ。

自分の近くでこのような事件が起きたらどうしよう。インターネットや携帯電話の掲示板はもう少し取り締まるべきだ。

犯人がとやかく言われるのはわかるが、ケータイやアニメが悪く言われるのはすごくいやだ。

歩行者天国をやめなくてもいいのではないかな。

(11) 主に共感するというもの

《男性の回答》

容疑者と同じ立場だったら、やったかもしれない。

《女性の回答》

彼の育った環境を知ると、彼の気持ちもわからなくもない。けれど、ここまでひねくれる理由がわからない。メディアが騒ぐのは当然だが、必要のない情報も多い。

気持ちはなんとなくわかるが、やっていいことと悪いことがある。

不満や心の隙間を理解してくれる人がいたら、この事件は起きなかった。

容疑者の心情に共感する部分が一部あった。

容疑者は寂しかったのではないだろうか。話を聞いてあげる人がいたら、こんな結果にはならなかった。

(12) 主に対策にふれたもの

《女性の回答》

事前に犯行予告があったのだから、被害はもっと抑えられたのではないかな。

掲示板での容疑者の書き込みに気付いていれば、こんなことにはならなかった。

掲示板に殺人予告を書き込むという残酷な事件だった。警察が掲示板をもっと監視すれば、

秋葉原無差別殺傷事件ニュース伝播に関する学生調査

防げた。

(13) 主に携帯電話にふれたもの

《女性の回答》

携帯電話のネットの世界の中でも現実でも孤独に耐え切れなかった容疑者。コミュニケーションを円滑にするはずだった携帯電話はその期待とは裏腹に、人々の心の闇を作り出すきっかけになってしまったのかもしれない。

携帯電話の負の側面が浮き彫りになった。携帯電話のあり方を考えさせられた。